

## 授業科目：看護教育・管理学特論 I（2単位）

学習目標：看護教育学の歴史や制度、看護教育学の課程と評価の考え方、生涯教育の概念と方法、看護教育学に有用な研究方法などについて理解させる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.4.16	月	6	看護教育学の歴史及び制度論	藤田倫子	基礎看護学（3階）・小児看護学（5階）・成人看護学（7階） いずれかの共同研究室
2	〃	〃	7	看護教育学課程論	〃	
3	4.23	〃	6	看護教育学組織運営論	高橋永子	
4	〃	〃	7	看護教育学評価論	〃	
5	5.7	〃	6	生涯教育の概念と方法論	〃	
6	〃	〃	7	実習指導者教育の開発	〃	
7	5.14	〃	6	看護教育学の研究論	尾原喜美子	
8	〃	〃	7	〃	〃	
9	5.21	〃	6	看護教育方法論 I	藤田倫子	
10	〃	〃	7	看護教育方法論 II	〃	
11	5.28	〃	6	看護学実習指導論	坂本雅代	
12	〃	〃	7	〃	〃	
13	6.4	〃	6	看護学実習評価論	〃	
14	〃	〃	7	看護教育方法論 I（プレゼンテーション）	藤田倫子	
15	6.11	〃	6	看護教育方法論 II（プレゼンテーション）	〃	

## 授業科目：看護教育・管理学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：看護管理の考え方と看護組織のあり方、業務分析と業務改善、  
リスクマネジメント、災害看護管理、看護管理と看護倫理など  
について理解を深める。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.4.18	水	6	看護管理の機能と役割	高橋永子	基礎看護学共同研究室(3階) 又は 成人看護学共同研究室(7階)
2	〃	〃	7	看護組織の成り立ち、変革への対応	〃	
3	4.25	〃	6	看護サービスマネジメント	〃	
4	〃	〃	7	看護管理と看護倫理	〃	
5	5.9	〃	6	組織の中の人間行動	平瀬節子	
6	〃	〃	7	看護管理者に必要なスキル	〃	
7	5.16	〃	6	リスクマネジメント	高橋永子	
8	〃	〃	7	災害看護管理	〃	
9	5.23	〃	6	看護経済・経営管理論の変遷	森木妙子	
10		〃	7	看護ケアの質の向上	〃	
11	5.30	〃	6	業務改善の進め方(TQM活動)	〃	
12		〃	7	目標管理・コーチング	〃	
13	6.6	〃	6	キャリア開発(人材育成)	齋藤美和	
14		〃	7	看護サービスと看護必要度	〃	
15	6.13	〃	6	ディベート：コスト意識	森木妙子	

## 授業科目：看護教育・管理学演習（2単位）（1）

学習目標：看護教育学における課題について議論を深め、問題解決型の演習を行うと共に、研究方法を構築する。

（演習は指導教員別を実施する。但し、講義の進行度により日程変更の可能性ある。）

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	19.10.3	水	6・7	看護教育学の現状分析と課題の探求	藤田倫子 尾原喜美子 高橋永子 坂本雅代	基礎看護学（3階） ・小児看護学（5階） ・成人看護学（7階） いずれかの共同研究室
3・4	10.10	〃	〃	〃	〃	
5・6	10.17	〃	〃	生涯教育の現状分析と課題の探求	〃	
7・8	10.24	〃	〃	〃	〃	
9・10	10.31	〃	〃	実習指導者教育の現状分析と課題の探求	〃	
11・12	11.7	〃	〃	〃	〃	
13・14	11.14	〃	〃	在宅看護管理教育の現状分析と課題の探求	〃	
15・16	11.21	〃	〃	〃	〃	
17・18	11.28	〃	〃	関連テーマからの仮説及び検証	〃	
19・20	12.5	〃	〃	〃	〃	
21・22	12.12	〃	〃	関連トピックス	〃	
23・24	12.19	〃	〃	〃	〃	
25・26	20.1.9	〃	〃	〃	〃	
27・28	1.16	〃	〃	〃	〃	
29・30	1.23	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：看護教育・管理学演習（2）

学習目標：看護管理学分野の課題に関連する国内外の文献を講読し、課題について議論を深め、研究方法を構築する。（演習は指導教員別を実施する。）

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	19.10.3	水	6・7	看護管理の課題	高橋永子 森木妙子 齋藤美和 平瀬節子	基礎看護学共同研究室（3階） 又は 成人看護学共同研究室（7階）
3・4	10.10	〃	〃	〃	〃	
5・6	10.17	〃	〃	課題テーマの背景	〃	
7・8	10.24	〃	〃	〃	〃	
9・10	10.31	〃	〃	課題テーマに関連した先行研究及びテーマに関連した情報分析	〃	
11・12	11.7	〃	〃	〃	〃	
13・14	11.14	〃	〃	看護管理関連トピックス	〃	
15・16	11.21	〃	〃	〃	〃	
17・18	11.28	〃	〃	課題テーマに関連した実態報告	〃	
19・20	12.5	〃	〃	〃	〃	
21・22	12.12	〃	〃	関連テーマからの仮説及び検証の可能性	〃	
23・24	12.19	〃	〃	〃	〃	
25・26	20.1.9	〃	〃	関連トピックス	〃	
27・28	1.16	〃	〃	〃	〃	
29・30	1.23	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：医療情報学演習（2単位）

学習目標：保健医療情報の特性を理解する。

看護教育・看護管理・看護研究における対象の情報（データ）表現方法を修得する。

表現されたデータ集合（データベース）から対象の関係性を解析する手法を修得する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1, 2	19.10.05	金	6・7	保健医療情報の特性	栗原幸男	看護学科棟保健指導室（2階）
3, 4	19.10.12	〃	〃	〃	〃	
5, 6	19.10.19	〃	〃	看護教育・看護管理・看護研究における対象の情報（データ）表現	〃	
7, 8	19.10.26	〃	〃	〃	〃	
9, 10	19.11.02	〃	〃	看護教育・看護管理における研究対象の情報（データ）表現演習	〃	
11, 12	19.11.09	〃	〃	〃	〃	
13, 14	19.11.16	〃	〃	データベースからの関係解析手法	〃	
15, 16	19.11.30	〃	〃	〃	〃	
17, 18	19.12.07	〃	〃	研究対象データベースからの関係解析演習	〃	
19, 20	19.12.14	〃	〃	〃	〃	
21, 22	19.12.21	〃	〃	〃	〃	
23, 24	20.01.11	〃	〃	保健医療情報学の研究事例の検討	〃	
25, 26	20.01.18	〃	〃	〃	〃	
27, 28	20.01.25	〃	〃	〃	〃	
29, 30	20.02.01	〃	〃	総括	〃	

## 授業科目：母子看護学特論 I（2単位）

学習目標：あらゆる世代の女性及び子どもと家族の健康増進のための課題を探求し明確にする。時代の変化及び日本の歴史的背景・文化、諸理論の理解を基に母性と子どもの課題の具体的な支援のあり方を追求する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.4.20	金	6	オリエンテーション、子どもと家族を取り巻く環境	尾原	母性看護学共同研究室（5階）
2	4.27	〃	6	子どもと家族を理解するための理論1（発達理論）	〃	
3	5.11	〃	6	子どもと家族を理解するための理論2（セルフケア理論）	川島	
4	5.18	〃	6	子どもと家族を理解するための理論3（コーピングの理論など）	〃	
5	5.25	〃	6	子どもと家族を援助するための理論4（ソーシャルサポート理論、家族の理論）	尾原	
6	6.1	〃	6	母と子の絆	宮井	
7	6.8	〃	6	子どもと家族の看護	尾原	
8	6.15	〃	6	妊娠・出産、育児の歴史的な歩み	濱田	
9	6.22	〃	6	今日の周産期医療の実態	〃	
10	6.29	〃	6	母性看護学に青ける主要な概念	〃	
11	7.6	〃	6	女性の人権及び意志決定	尾原	
12	7.13	〃	6	生殖医療の発達に伴う倫理的課題	〃	
13	7.20	〃	6	わが国の母性看護学領域における研究の動向	濱田	
14	7.27	〃	6	女性のライフサイクルにおける健康問題（思春期・妊娠出産）	楠目	
15	8.3	〃	6	女性のライフサイクルにおける健康問題2（中高年期）、まとめ	楠目	

## 授業科目：母子看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：母子の生活における QOL の向上を目指した看護の基礎的検討を行う。母子の自律や自己決定や療養における諸症状や反応について検討し、セルフケアにおける課題の抽出や倫理等について理解を深める。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.4.17	火	6	Current topics in pediatric maternal nursing	植田味佐	臨床看護学講座・小児看護学共同研究室（5階）
2	4.24	〃	〃	〃	〃	
3	5. 8	〃	〃	〃	〃	
4	5.15	〃	〃	〃	〃	
5	5.22	〃	〃	〃	〃	
6	5.29	〃	〃	〃	〃	
7	6. 5	〃	〃	〃	〃	
8	6.12	〃	〃	〃	〃	
9	6.19	〃	〃	〃	〃	
10	6.26	〃	〃	〃	〃	
11	7. 3	〃	〃	〃	〃	
12	7.10	〃	〃	〃	〃	
13	7.17	〃	〃	〃	〃	
14	7.24	〃	〃	〃	〃	
15	9. 4	〃	〃	〃	〃	
16	9.11	〃	〃	〃	〃	
17	9.18	〃	〃	〃	〃	

## 授業科目：母子看護学演習（4単位）（1）

学習目標：母子看護に関する特論に示したテーマの研究や重要課題について文献レビューとクリティーク、フィールドワークをし、自ら問題を展開する思考を養い、批判力及び研究を実践するための基本的能力を培う。

講義回数	年月日	曜日	時限	テ ー マ	担当教員	場所
1	19.10.2	火	6	Current topics in pediatric nursing care & study	植田味佐	臨床看護学講座・小児看護学共同研究室（5階）
2	. "	"	7	"	"	
3	10. 9	"	6	"	"	
4	. "	"	7	"	"	
5	10.16	"	6	"	"	
6	. "	"	7	"	"	
7	10.23	"	6	"	"	
8	. "	"	7	"	"	
9	10.30	"	6	"	"	
10	. "	"	7	"	"	
11	11. 6	"	6	"	"	
12	. "	"	7	"	"	
13	11.13	"	6	"	"	
14	. "	"	7	"	"	
15	11.20	"	6	"	"	
16	. "	"	7	"	"	
17	11.27	"	6	"	"	
18	. "	"	7	"	"	
19	12. 4	"	6	"	"	
20	. "	"	7	"	"	
21	12.11	"	6	"	"	
22	. "	"	7	"	"	
23	12.18	"	6	"	"	
24	. "	"	7	"	"	
25	.1. 8	"	6	"	"	
26	. "	"	7	"	"	
27	1.15	"	6	"	"	
28	. "	"	7	"	"	
29	1.22	"	6	"	"	
30	. "	"	7	"	"	

## 授業科目：母子看護学演習（2）

学習目標：母子看護学、小児看護学における重要課題、母子保健の現状と課題を中心に基礎的・応用的に文献を読み先行研究のクリテークや事例を分析しながら研究法の基礎を修練し、事故の研究課題を明確にしながら研究計画の作成をする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.10.4	木	6,7	オリエンテーション	尾原	母性看護学共同研究室（5階）
2	10.11	〃	〃	母子保健の実態と課題 母子に関する情報収集	濱田	
3	10.18	〃	〃	子どもと家族の実態と課題 子どもと家族に関する情報収集	川島	
4	10.25	〃	〃	母子保健における課題の明確化（プレゼンテーション）	濱田	
5	11. 2	〃	〃	子どもと家族に関する課題の明確化（プレゼンテーション）	尾原	
6	11. 1	〃	〃	母子看護領域の研究と倫理	〃	
7	11. 8	〃	〃	母性と家族に関する研究のクリテーク	〃	
8	11.15	〃	〃	小児看護に関する研究のクリテーク	〃	
9	11.22	〃	〃	看護研究方法の検討1	川島	
10	11.29	〃	〃	看護研究方法の検討2	尾原	
11	12. 6	〃	〃	看護研究方法の実際1	〃	
12	12.13	〃	〃	研究計画書の作成1	〃	
13	12.20	〃	〃	研究計画書の作成2	〃	
14	20. 1.10	〃	〃	研究計画書の作成3	〃	
15	1.17	〃	〃	まとめ	〃	

授業の進め方：ゼミナール形式

（学生自身がプレゼンテーションし、その内容に基づいて討論し学習を深める。授業内容スケジュールについては、学生の希望及び反応Ⅱより、漸次修正する。）

## 授業科目：成人・老人看護学特論Ⅰ（2単位）

- 学習目標：1) M・キングの Transaction Theory に基づき人間と環境を捉え、ヘルスプロモーションについて学ぶ。
- 2) 環境（生活習慣）及び遺伝と健康について理解する。
- 3) 成人期における健康障害の現状について学習し、疾病の自己管理や QOL としての健康について学ぶ。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	4.20	金	7	環境と遺伝と健康（1）	吾妻 健	成人看護学講座成人看護学共同研究室（7階）
2	4.27	〃	〃	環境と遺伝と健康（2）	吾妻 健	
3	5.11	〃	〃	環境と遺伝と健康（3）	吾妻 健	
4	5.18	〃	〃	環境と遺伝と健康（4）	吾妻 健	
5	5.25	〃	〃	慢性期看護の実際と理論の統合	森木妙子	
6	6.1	〃	〃	緩和ケア	森木妙子	
7	6.8	〃	〃	グリーフケア	森木妙子	
8	6.15	〃	〃	生活習慣と健康（1）	齋藤美和	
9	6.22	〃	〃	生活習慣と健康（2）	齋藤美和	
10	6.29	〃	〃	認定看護師・専門看護師の役割	齋藤美和	
11	7.6	〃	〃	精神面からとらえた健康（1）	戸田由美子	
12	7.13	〃	〃	精神面からとらえた健康（2）	戸田由美子	
13	7.2	〃	〃	精神面からとらえた健康（3）	戸田由美子	
14	7.27	〃	〃	家族看護	森木妙子	
15	8.3	〃	〃	家族看護	森木妙子	

## 授業科目：成人・老人看護学特論Ⅱ（2単位）

学習目標：地域で治療あるいは療養する成人・高齢者を対象にして、その家族への援助を含めて QOL を維持、向上するための支援について、施策とケアの側面から教授し、健康を障害した成人高齢者が社会で共生できるためのシステムの構築について議論します。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	18.6.13	水	7	高齢者の QOL 向上を目指した多様な生活	片岡万里	地域看護学共同研究室（4階） 又は老年看護学共同研究室（6階）
2	6.20	〃	6	高齢者の QOL 向上のための看護介入方法	〃	
3	〃	〃	7	高齢者と家族の機能評価	〃	
4	6.27	〃	6	生活習慣と健康(1)	高尾俊弘	
5	〃	〃	7	生活習慣と健康(2)	〃	
6	7.4	〃	6	生活習慣と健康(3)	〃	
7	〃	〃	7	ヘルスプロモーションおよび健康教育についての理念(1)	橋本結花	
8	7.11	〃	6	ヘルスプロモーションおよび健康教育についての理念(2)	〃	
9	〃	〃	7	ヘルスプロモーションおよび健康教育についての理念(3)	〃	
10	7.18	〃	6	高齢者とソーシャルサポート(1)	木村誠子	
11	〃	〃	7	高齢者とソーシャルサポート(2)	〃	
12	7.25	〃	6	高齢者をめぐる保健福祉活動(1)	高橋美美	
13	〃	〃	7	高齢者をめぐる保健福祉活動(2)	〃	
14	8.1	〃	6	成人・高齢者と健康管理（1）	徳川陽子	
15	〃	〃	7	成人・高齢者と健康管理（2）	〃	

## 授業科目：成人・老人看護学演習（１）（４単位）

学習目標：本科目では、人間・健康・環境・看護に関するグローバルな検討及び思索を行い、専門看護職者としての看護支援に関する職能の向上に寄与する。演習では看護支援のあり方について文献講読及び事例検討を行い、看護実践場面における問題解決能力・マネジメント能力を拡充させる。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	10.3	水	6・7	文献講読・事例検討（１）	吾妻 健	看護学科棟 7階・成人看護学 共同研究室
3・4	10.10	〃	〃	文献講読・事例検討（２）	吾妻 健	
5・6	10.17	〃	〃	プレゼンテーション	吾妻 健	
7・8	10.24	〃	〃	文献講読・事例検討（３）	齋藤美和	
9・10	10.31	〃	〃	文献講読・事例検討（４）	齋藤美和	
11・12	11.7	〃	〃	プレゼンテーション	齋藤美和	
13・14	11.14	〃	〃	文献講読・事例検討（５）	溝渕俊二	
15・16	11.21	〃	〃	文献講読・事例検討（６）	溝渕俊二	
17・18	11.28	〃	〃	プレゼンテーション	溝渕俊二	
19・20	12・5	〃	〃	文献講読・事例検討（７）	戸田由美子	
21・22	12・12	〃	〃	文献講読・事例検討（８）	戸田由美子	
23・24	12・19	〃	〃	プレゼンテーション	戸田由美子	
25・26	12.26	〃	〃	文献講読・事例検討（９）	森木妙子	
27・28	1.9	〃	〃	文献講読・事例検討（10）	森木妙子	
29・30	1.16	〃	〃	プレゼンテーション・総括	森木妙子	

## 授業科目：成人・老人看護学演習（２）（４単位）

学習目標：特論で得た、地域で治療あるいは療養する成人・高齢者とその家族のQOLを高める施策と看護の側面から支援に関する知識を活用して、文献の講読及び批評を行う。また、これらの知識を施設及び地域の実践の場で展開し、実践能力を養う。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1・2	18.10.4	木	6・7	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	高尾俊弘	地域看護学共同研究室（4階）又は老年看護学共同研究室（6階）
3・4	10.11	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	片岡万里	
5・6	10.18	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	木村誠子	
7・8	10.25	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	橋本結花	
9・10	11. 1	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	高尾俊弘	
11・12	11. 8	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	片岡万里	
13・14	11.15	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	橋本結花	
15・16	11.22	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	木村誠子	
17・18	11.29	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	高尾俊弘	
19・20	12. 6	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	橋本結花	
21・22	12.13	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	片岡万里	
23・24	19.1.10	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	徳川陽子	
25・26	1.17	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	高橋美美	
27・28	1.24	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	徳川陽子	
29・30	1.31	〃	〃	文献講読・事例検討・プレゼンテーション	高橋美美	

## 授業科目：看護研究論（2単位）

学習目標：看護研究における研究計画書、質的研究と量的研究のそれぞれに対応した研究デザイン、方法論、文献等の評価、英文論文査読などを通して論文作成の基礎について教授します。

講義回数	年月日	曜	時限	テーマ	担当教員
1	4.19	木	6	看護研究序論：①看護研究の定義、 ②研究プロセスの概観 ③課題選択・問題設定	藤田倫子
2	4.26	木	6	④文献レビュー ⑤理論的枠組み ⑥4つの研究デザイン	藤田倫子
3	5.10	木	6	量的研究におけるデータ収集と分析	森木妙子
4	5.17	木	6	研究計画書作成	藤田倫子
5	5.24	木	6	1) 質的研究とは何かーその意義、歴史、特徴	藤田倫子
6	5.31	木	6	2) 質的研究のさまざまなアプローチ／研究におけるサンプリング戦略、	藤田倫子
7	6.7	木	6	3) 口頭データ：半構造化インタビュー／データとしてのナラティブ／フォーカス・グループ・インタビューとディスカッション／口頭データ収集法 視覚データ：観察／エスノグラフィー／視覚データ法／視覚データ収集法	藤田倫子
8	6.14	木	6	4) データの文書化／コード化とカテゴリー化／質的研究の執筆	藤田倫子
9	6.21	〃	〃	研究計画書作成プレゼンテーション	森木妙子
10		〃	〃	1) 英文看護論文査読（質的研究手法）	吾妻 健
11		〃	〃	同上（問題の所在、文献レビュー、研究方法）	吾妻 健
12		〃	〃	同上（研究結果、考察）	吾妻 健
13		〃	〃	2) 英文看護論文査読（量的研究手法）	吾妻 健

14		”	”	同上（問題の所在、文献レビュー、研究方法）	吾妻 健
15		”	”	同上（研究結果、考察）	吾妻 健

注 1) 3人の教員による omnibus ですから、それぞれの担当教員との初回授業前  
確認（授業日時、教室、使用教材など）をしてください。

2) 藤田倫子授業担当の連絡です。

- ① 使用教科書：Denise F. Polit Bernadette P. Hungler 近藤潤子監訳 NURSING  
RESEARCH Principles and Methods 看護研究 原理と方法 医学書院 2002.11
- ② 教室：成人看護学共同研究室（7F）

## 授業科目：看護理論（2単位）

### 学習目標

1. 看護学における看護理論の位置づけを学び、これまでに開発された諸理論について理解する。
2. 看護理論の歴史について、概説するとともに看護実践の具体的事例を挙げ、理論との関与について理解する。
3. 看護実践の中で応用可能な中範囲理論と基礎となる広範囲理論の概念について理解し、活用法について検討する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.6.18	月	5	1) 看護理論入門 ① 看護の知のパターン ② 経験の表現としての看護理論	藤田倫子	基礎看護学（3階） ・小児看護学（5階） ・成人看護学（7階） いずれかの共同研究室
2	〃	〃	6	③ 看護理論の歴史 ④ 看護理論の概念 ⑤ 看護理論の記述	〃	
3	6.25	〃	5	2) 看護理論 ① 看護哲学 ② 広範囲看護理論	〃	
4	〃	〃	6	③presentation、discussion、lecture	〃	
5	7.2	〃	5	3) 看護理論 ①中範囲理論	高橋永子	
6	〃	〃	6	②presentation、discussion、lecture	〃	
7	7.9	〃	5	4) 看護理論 ①中範囲理論	〃	
8	〃	〃	6	②presentation、discussion、lecture	〃	
9	7.23	〃	5	看護理論の批判的考察	藤田倫子	
10	〃	〃	6	看護理論の批判的考察	〃	
11	7.30	〃	5	看護理論のケアへの活用	坂本雅代	
12	〃	〃	6	看護理論のケアへの活用	〃	
13	9.3	〃	5	Presentation、discussion	〃	
14	〃	〃	6	Presentation、discussion	〃	

15	9.10	〃	5	まとめ	藤田倫子 高橋永子 坂本雅代	
----	------	---	---	-----	----------------------	--

\* 使用教科書

Ann Marriner-Tomey 都留伸子監訳：Nursing Theorists And Their Work  
看護理論家とその業績、第3版、2004.

\* 参考書

Julia B. George 南裕子他訳：NURSING THEORIES The Base for  
Professional Nursing Practice 看護理論集 より高度な看護実践のために、日本看護協会  
出版会、2003.

## 授業科目：看護倫理（2単位）

学習目標：看護倫理について、倫理学と看護学の側面からアプローチし、看護倫理の歴史的背景を概観する。また、看護・保健医療の実践の場で起こっている倫理的課題を抽出し、それへの対応を検討する。更に、看護実践者としての倫理的責務について、わが国内外の規定を通して修得する。

講義回数	テーマ	担当教員	場所
1	「倫理」の概念と医療倫理	阿部眞司	6階 老年看護学 共同研究室
2	1.看護倫理の歴史 2.ナイチンゲールと看護倫理	片岡万里	
3	現代社会における倫理的諸相	〃	
4	看護職者に関連する各種倫理規定 1	〃	
5	看護職者に関連する各種倫理規定 2	〃	
6	看護職者の直面するジレンマとその検討	〃	
7	課題発表	〃	

\* 1回に2時限ずつ実施

\*実施年月日及び時限は、事前にお知らせします。

### 連絡先

1. 片岡研究室 TEL/FAX : 088-880-2538
2. e-mail:mkataoka@kochi-u.ac.jp

### テキスト

日本看護協会編：平成15年版 看護白書、p.3-93,p217-235, 日本看護協会出版会, 2003.

### 参考文献

- 1) 坪倉繁美編：具体的なジレンマからみた看護倫理の基本,医学芸術社, 2005.
- 2) 岡崎寿美子・小島恭子編：ケアの質を高める看護倫理 ジレンマを解決するために,医歯薬出版株式会社,2002.
- 3) マーティン・ベンジャミン、ジョイ・カーティス著,矢次正利他訳：臨床看護のディレンマ (1),(2),(3), 時空出版, 2000.

## 授業科目：健康情報論（2単位）

学習目標：保健・医療の分野における情報化の状況を把握する。

保健・医療の分野における情報化に必要な要素を理解する。

保健・医療の分野における IT 活用の視点を理解する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1,2	18.4.19	木	6, 7	求められる保健・医療の情報化	栗原幸男	看護学科棟保健指導室（2階）
3,4	18.4.26	〃	〃	電子カルテの現状、標準コード	〃	
5,6	18.5.10	〃	〃	保健・医療での情報化の手順 保健・医療の情報システム評価	〃	
7,8	18.5.17	〃	〃	医療データベースの活用	〃	
9,10	18.5.24	〃	〃	デジタル通信の活用 マルチメディアの活用	〃	
11,12	18.5.31	〃	〃	看護教育でのコンピュータ活用 AI 活用の可能性と課題	〃	
13,14	18.6.06	〃	〃	医療データベースの意味論的解析 （「医学統計学」公開講義）	（西村治彦）	

## 授業科目：保健統計論（2単位）

- 学習目標：1) 看護研究を実際に行って収集されたデータの特性について学習する。
- 2) 母集団から抽出された標本データから母集団の特性を推定するために、平均値等の集団の特性値及びその検定手法、比率の検定手法を理解する。
- 3) 看護研究でしばしば用いられる調査票を用いた手法について、社会調査論の立場から実施手技について理解し、得られたデータの収集・解析・評価の実際を学習する。
- 4) 人間の健康や障害に係わる事象と影響する要因との因果関係を推定するための統計手法（二次クロス・三次クロス・多変量解析）を実際に SPSS、Excel 統計等の統計ソフトを用いて学習する。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.10.1	月	6・7	保健統計学①データの取扱い	吾妻 健	共同研究室（4階） 地域看護学講座・地域看護学
2	10.15	〃	〃	保健統計学②比率の比較検定	〃	
3	10.29	〃	〃	保健統計学③平均値の比較検定	〃	
4	11.12	〃	〃	基礎統計学, 2 群間の比較	高尾俊弘	
5	11.26	〃	〃	分散分析と多重比較	〃	
6	12.10	〃	〃	独立性の検定	〃	
7	20.1.21	〃	〃	グラフ作成法	〃	

## 授業科目：健康環境論（2単位）

- 学習目標：1) 人間の健康に影響を与える要因に対する基本的視座を学び、疾病や障害の発生するメカニズムを理解する。
- 2) 健康要因の中でも特に内部環境（ホメオスターシス）の破綻が人間の健康に与える影響を学習する。
- 3) 環境ホルモンの人体への曝露に関する影響を学び、疾病や異常を引き起こす許容限界の考え方を理解する。
- 4) 人間の健康に影響を与える要因のうち、ストレスのマネジメント、リスクコミュニケーションの実際を数名のグループに分かれて検討し、各グループの考えをプレゼンテーションする。

講義回数	年月日	曜日	時限	テーマ	担当教員	場所
1	19.10.22	月	6・7	ホメオスターシスと健康	高尾俊弘	地域看護学講座・地域看護学 共同研究室（4階）
2	11.5	〃	〃	グループワーク	〃	
3	11.19	〃	〃	グループワークとプレゼンテーション	〃	
4	12.3	〃	〃	環境ホルモンと健康	〃	
5	12.17	〃	〃	グループワークとプレゼンテーション	〃	
6	20.1.7	〃	〃	ストレスと健康	〃	
7	1.28	〃	〃	グループワークおよびまとめ	〃	